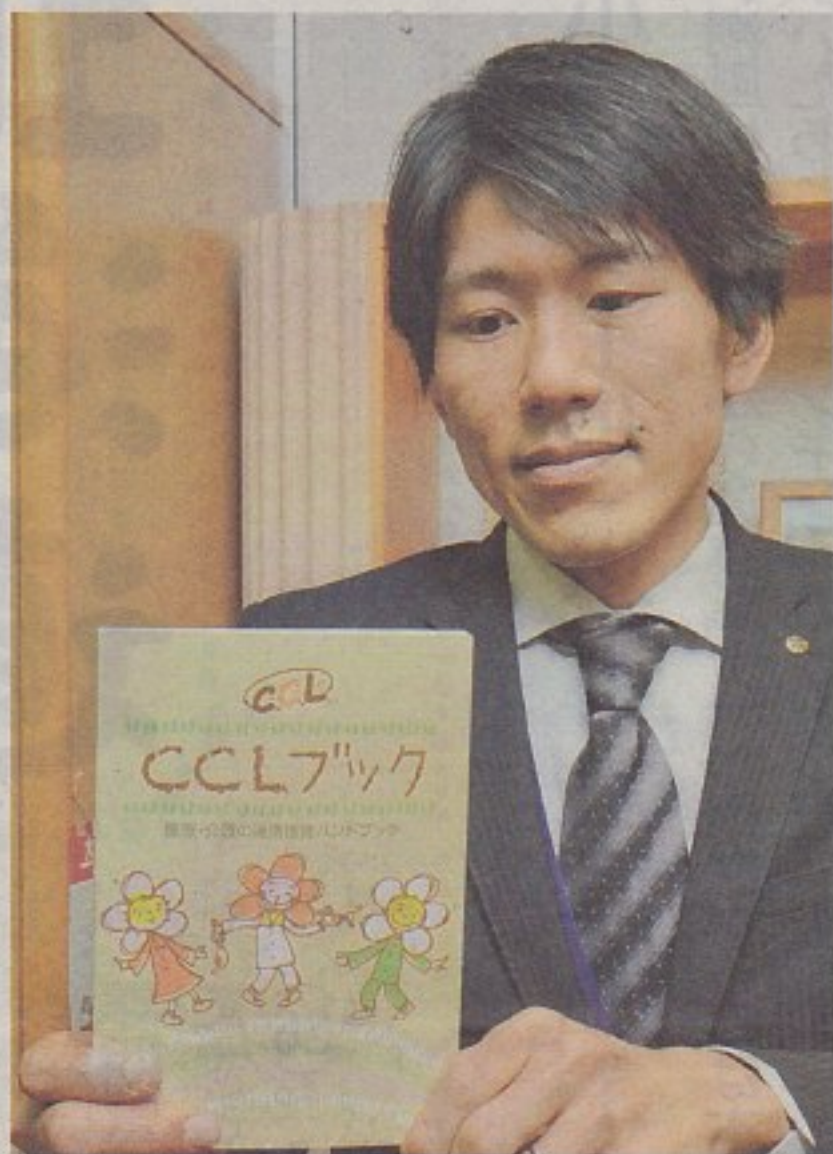


# 医療と介護 連携図ろう



医療、介護分野の専門職の連携のあり方をまとめた冊子「CCLブック」を手にする竹田区事務局長

## 管内のグループ「CCL」

釧路管内の医療、福祉関係者でつくるグループ「CCL（くくる）」は医療や介護に携わる専門職間の緊密な連携のあり方をまとめた冊子「CCLブック」を発刊した。患者の希望に沿う形の医療や介護が求められる中、医師、看護師、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカーなど専門職同士が情報交換したり、業務を補い合うことの必要性が高まっている。CCLブックはメンバーが日々の経験から感じている課題や解決へのアイデアなどをまとめた。

## 課題解決アイデア 冊子に

メンバーの座談会のページでは「（近寄りがたいため）医師とは連携がしにくい」「文書だけでなく、お互いに直接会って話し合った方がいい」といった意見を掲載した。このほか「多職種連携の達人」9人の紹介、治療や介護の受け手の体験手記、医師とケアマネジャーが一緒に患者と接する取り組みを進める医療機関リストなどを掲載した。

CCLの竹田区事務局長は「専門職の人たちが仕事を進める上でヒントにしてほしい」と話す。

A5判68ページ。一般向けには配布していないが、CCLのホームページ（<http://ccl.jp.net/>）で閲覧することができ。

（安藤徹）